

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 岡山県南部水道企業団		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 710-0807 倉敷市西阿知町247-1	
本票作成	部署名： 施設課				
主たる業種	分類コード	36	業種名： 水道業		
事業の概要	水道用水供給事業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	西阿知浄水場		倉敷市西阿知町247-1	
	②	宇野津増圧ポンプ所		倉敷市児島宇野津1919-2	
	③	広江増圧ポンプ所		倉敷市広江7-2-6	
	④	常山増圧ポンプ所		玉野市宇藤木2-1	
	⑤	正面山調整池		倉敷市児島稗田町2787	
⑥	田の口増圧ポンプ所		倉敷市児島田の口3359-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 24 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 24 年度)			目標年度 (平成 27 年度)					
	9,699 t CO ₂			9,408 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 24 年度) の排出量					
	①	西阿知浄水場		6,762 t CO ₂					
	②	宇野津増圧ポンプ所		1,629 t CO ₂					
	③	広江増圧ポンプ所		904 t CO ₂					
	④	常山増圧ポンプ所		370 t CO ₂					
	⑤	正面山調整池		4 t CO ₂					
⑥	田の口増圧ポンプ所		3 t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 24 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

エネルギー使用量の大部分を占める電気使用量は、生産数量である送水量と密接な関係にあり、送水量は減少傾向である。そのため、目標削減率を年1.0%と考え目標年度で3.0%削減とした。

【目標削減率達成のための推進体制】

目標削減率を達成するために、組織体制を確立していく必要がある。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
・西阿知浄水場	平成23年度に監視室の照明の一部を蛍光灯からLEDに変更することで、約2,450kWh/年の電気使用量の削減ができた。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
・広江増圧ポンプ所	平成25年～平成27年に、既設の増圧ポンプの誘導電動機を高効率である永久磁石モータに更新する計画がある。これにより、約87,400kWh/年の電気使用量を削減できる。
・西阿知浄水場	平成25年～平成27年に、事務所及び監視室の照明を蛍光灯からLEDに更新する計画がある。これにより、約15,100kWh/年の電気使用量の削減ができる。
・西阿知浄水場	平成25年～平成28年に、高圧変圧器（750KVA）の廃止する計画がある。これにより、約18,600kWh/年の電気使用量の削減ができる。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	有	現在所有している水源涵養林の維持管理
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--